

わんぱく学園ニュース

平成18年 11～12月号 No127

小春日和が続く日、路(みち)の辺に黄色い芯の大きな白いまろやかな美しい花…そう…茶の花が……。白いつぼみが葉裏葉表に見え、初々しくもあり何故か懐かしい想いも ——。

「遠き日の、父母を想いつ、茶の咲けり」 ～ 垣

松下幸之助の「素直な心」

静岡 山元加津子付き人(公認会計士) 小林 正 樹
松下幸之助さんの生涯のテーマは「素直な心」でした。その為に真々庵と言う庵の庭にある「根元の社」(伊勢神宮の1/20の大きさの社を自分で作っていた)の前に毎日座り、「今日一日素直な心でいられるように」と祈りを捧げました。そして80才を過ぎた頃「ワシもそろそろ素直な心の初段かなあ～」と言いました。「毎日碁を打って30年継続すると大体初段になる。ワシも毎日『素直な心でいられるように』と祈り始めて、ほぼ30年になるからなあ～」と言うのです。

素直な心になると言うことは、それくらい難しいことなのでしょう。そして、その難しさを松下幸之助さんはよくよく知っていたのです。「ワシも、やっと初段かなあ～」と言うくらいですから…。

神様は人間だけに「自由意思」を与えました。(他の動植物は神様から与えられた本能《機能》のまま過ごしていますが…)多分、手足を持たない神様の代わりに、他の存在のお役に立ちなさいという神様のご意思だろうと思うのです。しかし自由意思を与えられた人間は、その能力を自分のエゴの為に使いがちになっているのではないかと思うのです。「素直な心」とは、その自由意思を神様の御心のままに使うこと、エゴのフィルターで物事を見ないことではないかと思うのです。

と言うことは素直な心の実践は、大変難しいこと。幸之助さんは、それを分かっていたと言うことなのでしょう。

(株)ケイシーシー経営研究所・代表取締役

息を吹き返した 1本の電池

「素直な心」は原点に戻るといふ事ですよ？ ということをお林さんから学ばせて頂きました。この松下幸之助さんは、使えなくなった電池を抱いて寝、そしてその電池は息を吹き返したそうです。それは、幸之助さんが、1つの商品に素直に愛情をもって取り組まれたからではないでしょうか？。人に対して素直な気持ちで接することの大切さを教えていただいたお手紙でした。 [記 土江 和]
◆11月・12月の「わんぱく学園」のメニューは下記の通りです。

11月 5日	粘土コネコネしてあ～そぼ! (担当 土江和・山口恵) ・ 齧 アトリエ「おちらと」 ・ 参加費300円 ・ アトリエおちらとへ直接来てもいいですよ 囲炉裏囲んでの合併鍋(おちらと畑の野菜など) 鍋に入れる物があったら持って来てね
12日	おやすみします
19日	Tシャツに絵を描いて遊ぼう (担当 榎野良・原幸) ・ 齧 ギャラリー「ミチル」・直接来てもいいですよ のびのび画家さんに変～身! ミチル喫茶も楽しみ♪
26日	温泉でのんびり(担当 土江和) ・ 行き先は楽しみにね ・ 入場料300円(不登学園補助) ・ おやつ・飲み物は学園で準備
12月 3日	コンニャク作りしようね (担当 福田絵・土江和) ・ 齧 アトリエ「おちらと」 ・ 材料費300円 ※福田魁の畑でコンニャク芋 作ったんだって!
10日	粘土遊び. 備前焼きに挑戦(担当 安食ひ) ・ 材料費300円 ・ 齧 アトリエ「おちらと」 ・ 囲炉裏囲んで焼き餅パーティー
17日	X'mas. お正月用のリースづくり(担当 榎野良) ・ 齧 ギャラリー「ミチル」 ・ ミチル喫茶も! ・ 教材費300円
24日	ケーキづくり (担当 原幸・山口恵) ・ 材料費500円 ・ 斐川町コスモス教室(旧斐川西中. 直江) ・ 準備の都合上参加希望の方は、原姓まで(館72-0452)

★集合時間 9時半 ★集合場所 光人塾前駐車場

★学園問い合わせ先: 土江《電話 090-7774-5913》 [文責 土江 和世]